



報道で紹介された美瑛高校 08

◆令和6年6月25日(R6. 7. 6 びえい新聞)

3年生「フードデザイン」の授業であらいふあーむさんにお邪魔し、収穫体験を行いました。無農薬で栽培することの難しさや味の違いなどを学びました。今後は継続的に体験し、成長についても学習する予定です。

(3) 2024年(令和6年)7月6日

びえい新聞

「あらいふあーむ」で農作業を体験 美瑛高校フードデザイン実習



農作業の体験を通して地元食材の魅力を体感。美瑛高校3学年のフードデザイン選択者を対象とした収穫体験実習が、6月25日に「あらいふあーむ」(新井農園)で開かれた。地元食材の収穫体験を行い魅力を理解すること、地元産業や食育に関する意識を高める目的を持ったもので、3人の生徒が参加。新井聡代表が安全・安心の農産物づくりへの思い、土づくりからのこだわりをはじめ、カラスやキツネへの対応など経験を通じた農業についてレクチャー。まずはニンジンの畑で雑草の除去。続いてニンニクの芽の収穫を行った。新井代表はコツを伝えながら「野菜嫌いでも食べて

もらえる野菜を作っている。無農薬だから生で食べるナスはぜひ食べてもらいたい」との話しに生徒たちは感心。「雑草も色んな技術で生えにくくしている。できれば定期的にきて作物の成長を見てもらえれば」と話した。さらに生徒たちはイチゴの収穫を体験。試食した生徒たちは、特別の甘さに「おいしい」と笑顔を広げた。新井代表は「イチゴの商品化も考えてみてほしいかも」とアドバイス。食への理解を深める実習となった。